

弘法大師空海ご誕生一二五〇年

令和五年（二〇二三）は、弘法大師空海さまのご誕生されて一二五〇年の記念の年にあたります。弘法大師空海さまは、真言宗を開宗された方というだけでなく、古来より親しみを込めて「お大師さま」と呼ばれて多くの方々に信仰されてきました。四国のお遍路さんなどを見ると、今や世界中の方々がお大師さまに手を合わせ、いつもお大師さまとともにあるという「同行二人」の祈りを捧げています。そのようなお大師さまのご遺徳に対し、私たちは力を合わせ、ご恩に報いていきます。みなさま、どうぞこのご勝縁をとともにお祝いいたしましょう。

お唱えしまししょうお大師さまのご宝号

南無大師遍照金剛



稚児大師像（ご幼少のお姿）

真言宗智山派で行なう慶讃事業



弘法大師空海 御影

- ・ご誕生慶讃法要
- ・展示収蔵庫の建設
- ・智積院金堂補修事業
- ・その他慶讃事業



生きっ力
仏さまに祈り 仏さまと出会う



弘法大師 空海
ご誕生 1250年

真言宗智山派・総本山智積院

弘法大師 空海

ご誕生1250年



令和5年（2023年）は、弘法大師空海さまがお生まれになって
1250年にあたる記念の年です。



お大師さまのご生涯

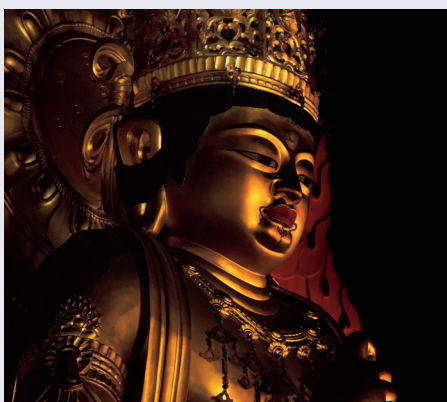
お大師さま年表

- 宝亀五年(七七四) 讃岐国(香川県)に生まれる(六月十五日)
- 延暦十年(七九二) 十八歳 都の大学で学問に励む
- 延暦十六年(七九七) 二十四歳 仏道を志す決意の書『聾瞽指帰』(三教指帰)を著す
- 延暦二十三年(八〇四) 三十一歳 入唐(中国に留学する)
- 延暦二十四年(八〇五) 三十二歳 青龍寺恵果阿闍梨より密教の奥義を授かる
- 大同元年(八〇六) 三十三歳 帰朝(日本に帰る)
- 弘仁七年(八一六) 四十三歳 高野山を賜る
- 弘仁十四年(八二三) 五十歳 東寺(教王護国寺)を賜る
- 承和二年(八三五) 六十二歳 六十二歳
- ご入定(三月二十一日) ※入定＝永遠の禅定に入る
- 延喜二十一年(九二二) 「弘法大師」の諡号を賜る



お大師さまの教え

お大師さまの教えで最も大切な「即身成仏」は、口に真言を唱え、手に印を結び、心に仏さまを感じる「三密行」を実践することで、曼荼羅諸尊の中心的な仏さまである大日如来と本来一体であることを悟る、すなわち私たちもこの身このままで、仏さまになることができるという教えです。



智積院金堂ご本尊 大日如来



お大師さまの足跡

書に優れ、嵯峨天皇、橘逸勢とともに平安の三筆といわれる

お大師さま修行の地 四国八十八所霊場 お遍路

讃岐国(香川県) 満濃池の 修築工事を担当

日本初の私設学校 綜芸種智院の創設



お大師さまと総本山智積院

- 弘仁七年(八一六) お大師さま高野山を賜る
- 保延六年(一一四〇) 中興の祖興教大師覺鑊さま 真言宗の教えを再興し、高野山から根来山へ移る
- 天正十三年(一五八五) 豊臣秀吉の焼き討ちに遭い 根来山内の智積院も灰燼に帰す
- 慶長六年(一六〇二) 徳川家康の寄進により、京都洛東の地で智積院再建 現在に到る



智積院 金堂